

# 崔書勉先生を囲む会 「第二十一回 日韓談話室」のご案内

輝かしい新世紀を迎えました

平素の各位よりのご高導に衷心より感謝申し上げます。この世紀が真に光輝く希望にみちた新世紀となりますよう皆様と共に研鑽を積んで参り度存じます。此の度はまた私共日韓両国を愛し友好推進に努力を傾注致しております者にとりましては何とも衝撃的な韓国人留学生李秀賢氏が新大久保駅転落者救出で一命を投げ出された悲劇は例えようもなく素晴らしい外交を感じさせるものとして深く感銘を与えました。本会としてもこの事象又彼の名を永久に保存すべく国に尽力を致したいと思っております。

さて、新世紀はアジアの世紀とも云われ私共は北朝鮮と韓国の統一を実現すべく希っております。折も折、メンバーの塚本勝一先生（元駐韓日本大使館駐在武官）北朝鮮に関する著作「北朝鮮・軍と政治」（小此木政夫慶応義塾大教授日く・一級資料に裏付けされている）を発刊されたのでご解説少々。本問題についてのご高見を承り度存じます。

越智通雄先生は、毎年恒例の米国大統領新年祈祷会に今年も参席。ブッシュ大統領とも顔を合わされましたので、印象及び米国のホットニュースをお話戴けることと思ひます。

ラストに崔書勉先生の恒例による「卓見をお伺い致します」。

新年の顔合わせを兼ね、左記の通り開催致しますので御多用中恐縮乍ら奮って御出席賜りますようご案内申し上げます。

敬 具

二〇〇一年二月三日

『日韓談話室』

代表世話人

世話人

堀 本 明 涉  
橋 陽 嘉 枝  
嘉 田 佳 子  
寺 田 子

記

日 時 二〇〇一年二月十六日（金）

受付 十七時半

開会 十八時 ～ 二十時（終了退室）

場 所 日本倶楽部 丸の内・国際ビル八階

電話 〇三―三三二―一―二五一一

会 費 七千円（越智先生 勲一等授章記念品代及び簡単なお弁当を御用意致しております）

日時が迫り恐縮でございますが、二月十三日（火）迄に同封葉書にて必ずご出欠をお知らせ下さいませようお願いします。

『日韓談話室』連絡先

寺田・白村

電 話

〇三―三四〇四―一八八  
ファックス 〇三―三四〇四―六三〇一

オズインターナショナル内

『報告』 二十世紀最後の勉強会 十一月二十二日 越智通雄先生 柳光錫公使をはじめ三十一名が参席

橋本氏より板門店視察の感懐から、金日成親子の作り上げられた偶像にも触れ、又予てからの懸案「天皇訪韓」については距離をおき世界情勢が整ってから行うべきであると思ひが変わられた事の解説を伺いました。

次に、林先生より日帝三十六年を語るには時間が足りないとの御指摘。そして日本に公開されていない大変重要な真相に触れるイメージ調査の一部を伺いました。日本大使館が高麗大学新聞放送研究所に委嘱した「植民地統治の責任を問うか」の質問には五七・七%が問わない、四二・一%が問う。又「日帝時代の統治の責任は日本にある」は二九・二%。「責任は統治力のない韓国にある」は平均五五%。三十代 五七・七%。二十代 六七%と若い人ほど逆転の意識が高いと云う報告であった。我々が考えているより日韓問題は国民の意識が進んでいる。又これは朴大統領が繰り返し説かれていた事に一致してきている等、質の高い資料に基づく興味あるお話が続きました。

柳公使よりは日韓の歴史認識が薄れて来ている。五十年の間に努力して来た現在を大切にしてくべき等との静かな正論も伺いました。

崔先生より日韓の二十世紀は言い合い・言い放しの時代であったと ……

安重根義士の東洋平和論、伊藤博文公の極東平和論を引いての「日中韓平和論」を展開されました。今、伊藤博文公の孫と楽しく飲み語り合っているとお話 ……

そして最後に二十一世紀には相手が納得する自論でなければ素晴らしいものにはならないと締め括られました。

\* 二十世紀忘年会は十二月二十二日 越智先生をはじめ二十名が参席 親交を深める暖かい楽しい会でした。